



「主体的に学習に取り組む態度」の評価を どう見取るかー公民的分野を例にー

大学非常勤講師 東京都公立中学校 元校長 石上 和宏

1. 公民的分野における「主体的に学習に取り組む態度」とは

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』（以下、『解説』）では、「知識・技能」と「思考・判断・表現」の観点で指導する内容について「(2) 内容」に詳細に書かれており、目標や評価規準を作成する際に活用できる。しかし、「主体的に学習に取り組む態度」については明示されておらず、どのように指導すればよいか戸惑う先生方も多いのではないだろうか。そこで参考にするのが、各分野の「(1) 目標 (3)」である。地理的分野と歴史的分野の目標 (3) には、「…よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う」と書かれている。一方、公民的分野では、「…現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う」とされている（図1）。つまり、地理と歴史では、①よりよい社会の実現を視野に、②そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしているかどうかを評価する。一方、公民では、①現代社会に見られる課題の解決を視野に、さらに踏み込んで、②主体的に社会に関わろうとしているかどうか、科目としてのポイントとなる。また、中学校、高等学校の接続の点から、公民的分野と高等学校公民科「公共」を比較すると、『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 公民編』の「(2) 目標 (3)」に「現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う」とある。「公共」では、①現実に行き起きている現代の諸課題を取り上げ、②主体的に解決しようとしているかどうかを評価することになる。以上のことから、中学校公民的分野

(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

図1 公民的分野の目標 (3)（『解説』 p.131）

では、高等学校のように、具体的な現代の諸課題の解決までは求めないまでも、「主体的に社会に関わろうとしている」かどうかの評価規準作成のポイントとなることを押さえておきたい。

2. CCAは評価としてふさわしくないのだろうか？ ー各観点を一体的に評価する

CCAとは、観点別学習評価において、「知識・技能」の評価がC（努力を要する）であり、「思考・判断・表現」もCである生徒に、「主体的に学習に取り組む態度」の評価においてA（十分満足できる）をつけられるのか、というものである。「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」においては、同観点を見取る際には「知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することが重要である」と指摘されている。「知識・技能」「思考・判断・表現」を身に付けるために自らの学習を調整し、粘り強く学習している生徒が、この二つの観点の評価がともにCとなることは考えにくい。したがって、通常、CCAをつけることはないし、そうならないように指導するべきである。

旧課程における「関心・意欲・態度」の観点

における評価は、生徒のその時点の様子を見取るものであったのに対して、「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、生徒の学習中の取り組みの様子を継続的に評価の対象とし、「粘り強い取組」「自らの学習の調整」の二側面を評価する。そのため、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点と切り離して評価すべきではない。例えば、「知識・技能」の習得上、学習の自己調整が適切に行われていない場合は、生徒自身がより適切な学習に向かえるよう指導することが重要であり、同時に授業改善につなげていく必要がある。

そもそも主体的とは、広辞苑によると、「ある活動や思考などをなす時、その主体となって働きかけるさま。他のものによって導かれるのではなく、自己の純粋な立場において行うさま」とある。「主体的な学び」のためには、まずは生徒の興味・関心を高めることが大事である。これから学ぶ内容が、自分の将来にとって必要な学習（真正の学習）であることを意識させ、自分ごととしてとらえさせたり、知的好奇心を喚起して興味・関心を高めさせたりすることが必要となる。そうすることで、生徒は自らの意思で学習を進めることができ、さらに、その取り組みが評価の対象ともなる。その意味で、授業の導入において学習へのモチベーションを上げることが今まで以上に必要となるだろう。

3. 単元のまとまりで授業・評価する

現課程では、1時間（50分）の授業単位ではなく、「内容のまとまり」を見通した授業が求められている。ある単元のまとまりが8時間であれば、8時間分の構成をどうするかを考え、その中で、教師が教える時間と生徒が学ぶ時間を設け、見通しを持たせたり、振り返りをさせたり、話し合いをさせたりする。例えば、8回で完結するドラマがあるとすると、1回ごとにそれぞれのテーマが完結するものの、ドラマ全体のテーマは、8回を通して展開される。回が進むに従って、ドラマの主題が見えてくるものである。これと同じように、1時間の授業でそ

の時間のねらいを達成していく一方で、「内容のまとまり」である単元全体を通して授業を展開させていく。その際、横糸が1時間の授業で、縦糸が単元を通した「問い」とイメージするのはどうだろうか。従前の単元計画に、学習項目だけではなく、発問や学習活動、目標・評価までを記述し、単元全体を通してストーリー性のある授業を展開することで、生徒は毎時間の学習内容の狙いを理解し、単元全体を通して何を学ぶのか、見通しをもつことができる。それが、生徒の主体的な学びにつながっていくだろう。

その際、1人1台配布されている端末を有効に活用したい。例えば、パフォーマンス課題を生徒に示した場合、授業中や家庭学習を通して調べたこと、感じたこと、考えたことを時系列で記入させていくと、それらが学習履歴となり、生徒一人一人に自己の学習を振り返らせることができる。さらに、生徒同士での共有が容易となることから、生徒同士の相互評価や学び合いにも活用できるため、生徒の興味・関心を継続させるうえでも有効だろう。

4. パン屋の企画書コラムを活用した展開例

ここでは、『社会科 中学生の公民』第3部「第3節 企業と経済」（p.127～144）から、「パン屋を起業しよう」コラムを取り上げる。第3節は、パン屋の起業という現実起こりうる場面を想定して企業と経済活動について学ぶ構成になっている。冒頭でパン屋の企画書を書いてみて、実際に企業活動や金融のしくみを学びながら起業に必要な情報を段階的に組み込んでいき、単元の最後に、その企画書を振り返って修正するというものである（図2）。将来生徒が社会に出たときに直面するような、まさに「生きて働く知識・技能の習得」を図ることができる。そして本単元は、企画書の作成という継続的な取り組みができるため、生徒の粘り強い取り組みと自らの学習を調整する力を見取るには最適だろう。だがそもそも、今の中学生は起業に関心を持っているだろうか。ある調査では、日本の高校生は起業したり、店を持ったりした

1 今までの学習を振り返ろう

やってみよう1

1. この章を通して選択してきた、パン屋の経営を振り返ろう。友達とも意見交換してみよう。

| | | | |
|--|--|---|---|
| ページ タイトル ゆいのかん あなたの考えは？ 学んだこと | p.129～130 ②どのような形態で起業する？ 理想を振り回すに自分を制限しすぎて販売する。場所は自由に選べないけれど、費用を少しでも抑えたい。 | p.131～132 ③起業の資金をどう調達する？ クラウドファンディングで集める。自分の思いを伝えれば、賛同してくれる人も出てくるはず。 | p.135～136 ④利益をどう配分させる？ 雇下げてお金を呼び込み、販売額を増やす。雇下げておきかけに雇人が、私のお話を聞き取ってくれない。 |
| p.137～138 ⑤人手不足にどう対応する？ 人材紹介会社や派遣会社を活用する。人材の質やコストが目に見えないので、採用業務を「分業」してもらいたい。 | p.139～140 ⑥長時間労働を減らしたい！ 営業時間や接客時間を見直し、お客様の少ない時間帯は思い切って営業をやめれば、従業員の負担も減るはず。 | p.141～142 ⑦「食品ロス」をゼロに目指すには？ 営業時間で販売し、売り切れ次第、廃棄を躊躇する。「食品ロス」もゼロに近づけ、パンの廃少量も削減される。 | |

「パン屋の経営を考えることで、起業することになりかかっていることを実感できました。」

2 企画書に必要な項目を確認してみよう

企画書には特に決まった形式はありませんが、どのような企業を起こしたいのかということを確認することが大切です。選んだ業種によって必要な項目は異なります。分からない項目やほかに必要な項目を、実際の企業のホームページや求人広告などで調べてみるのも一つの方法です。

| 企業名 | 事業内容 | セールスポイント |
|---------|------|----------|
| キャッチコピー | 事業所 | 資金 |
| 従業員数 | 開業時期 | 開業方針 |
| 労働条件 | 福利厚生 | 社会的責任 |

⑧ 企画書に必要な項目の一例

技能がみがかく 自分が起こしたい企業の企画書を書いてみよう

パン屋の企画書を参考に、自分が起こしたい企業の企画書を書いてみよう。また、グループで発表してみよう。

書き方のヒント
自分の企業と同じ分野の企業について、実際の仕事内容や企業を取り巻く環境などを調べてみよう。実際に企業を訪ね、仕事を体験したり、お話を伺ったりすることも、企業への理解を深めるよい方法です。

海外進出を目指すために、海外にも支社を設けました。新たなゲームの企画や開発には、多様な人材を活用することが不可欠であると考え、社会的責任として盛り込みました。

企業名 株式会社 HIROTO
事業内容 ゲームアリの開発
セールスポイント 世界中の人に感動を与えるようなゲームづくりをめざします
キャッチコピー 「すばらしい体験をあなたに」
事業所 本社………東京
支社………ロサンゼルス、ロンドン、シンガポール
資本金 50億円
従業員数 約1000人
取引先 神田銀行 南関東ソフトウェア
採用方針 アイデアや企画を重視します
労働条件 10～18時、企画・開発したゲームがヒットすれば、賞金アップ
福利厚生 有給休暇30日 育児休業・介護休業制度 社内保育所あり
短時間勤務制度・在宅勤務制度あり
社会的責任 女性の活躍を推進し、障がいのある人を積極的に雇用します

⑨ ひろとの企画書

3 パン屋の企画書を修正しよう

やってみよう2

1. パン屋の経営を振り返って、p.128の企画書を書いてみよう。書いた企画書を完成させよう。併せて、最初から変更した点をまとめてみよう。また、友達が書いた企画書と比較してみよう。

従業員によって働きやすいように、子どもが気軽にでも働きやすい形を導入しました。また、従業員のやる気を高めるために店長に担当を上げる制度も導入しました。

自分が書いた企画書と見比べると、どのような点を修正しているか、違いが見えてくる。

企業名 株式会社 Le Pain (ル・パン)
事業内容 パンの製造・販売
セールスポイント おしゃれなヘルシーな、おいしいパンをつくり、満足いただけるよう努力がします
キャッチコピー 「おしゃれヘルシー」
事業所 東京都港区中目黒の住宅地、近(の)デパート、パティ(フランス)
資本金 1000万円
従業員数 家族と社員30名、パート社員50名
取引先 汎用テクノロジー うちでオープン
採用方針 パンが好きで、他店で経験のある人を優先して採用します
労働条件 午前勤務、午後勤務の交代制
福利厚生 新しいパンの企画が採用されて売れば時給をアップします
社会的責任 「食品ロス」をゼロに近づけて環境にも配慮します

図2 「企業の企画書を完成させよう」『社会科 中学生の公民』 p.143-144

いと思っている生徒の数が他国に比べ極端に低いことが指摘されていた*。そうした実態を踏まえ、生徒が本単元の内容に興味・関心を持ち、「生きて働く知識・技能」を習得するための工夫を紹介したい。

導入～第1時 本単元においては、生徒の実態を十分に踏まえたものとする必要がある。そのために、将来の職業や夢について生徒がどのように考えているか把握しておきたい。もし起業する意識の低い生徒が多ければ、「今は起業しようとは思わないかもしれないが、起業の方法を知っておけば、企業への見方が広がるし、将来の選択肢を広げることできるよ」などの声掛けを行い、できるだけ生徒の興味・関心を喚起することが重要である。具体的には、指導書Webサポート内にあるワークシートを加工し、自分の将来について具体的に描かせることから始めたい。そのうえで、パン屋を開くとしたらどのような店にするか、できるだけ具体的に想像させる。後半は、グループ内でお互いの理想の店を共有し、より具体的な起業内容になるようアドバイスし合う。

第2～7時 店内の内装や売っているパンの種類など、具体的に想像させて生徒の興味・関心を喚起しながら、ワークシートに記入させる。その際、②「どのような形態で起業する？」は「家族経営か、人を雇うのか？」、⑥「長時間労働を減らしたい！」は「気持ちよく働いてもらうにはどうする？」など、生徒の実態に応じて問いかけを分かりやすく言い換えるとよい。自分の店を持つうえで必要なことが出てきたら企画書に付け加えていく。

働を減らしたい！」は「気持ちよく働いてもらうにはどうする？」など、生徒の実態に応じて問いかけを分かりやすく言い換えるとよい。自分の店を持つうえで必要なことが出てきたら企画書に付け加えていく。

第8時 今までの学習内容を踏まえて、具体的な企画書を完成させる。その際、実際の中学生や高校生が起業した例などを参考にさせる。時間が足りなければ、家庭学習とするなど、納得のいくまで考えさせることが大事である。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、導入時から第7時までのワークシートの記入内容の変化、さらに第8時の企画書から見取っていく。ワークシートの記入では、クラスメイトや教師のアドバイス、学習内容をもとに、どれだけ修正案を付け加えているか、その変容をみる。企画書では、生徒が起業を自分ごととしてとらえ、社会にどのように関わろうとしているか、その姿勢の深まりを見取る。

5. まとめに代えて

「主体的に学習に取り組む態度」をどう見取るかは目下の課題ではあるが、まずは、「主体的・対話的で深い学び」のできる授業を実践することが重要である。「主体的・対話的で深い学び」のないところで、「主体的に学習に取り組む態度」の評価はできないことを心に留めておきたい。

*日本経済新聞2023年7月4日付に、日米中韓の高校生の職業意識に関する調査結果が掲載されていた。「自分の会社や店をつくりたい」という質問に「とてもそう思う」と答えた高校生は、他の3か国は23～27%いるのに対して、日本場合は8.5%であった。